

アメリカでアジアブーム?

映画 Crazy Rich Asians が全米興行 3 週連続 1 位
韓国ボーイズバンド BTS はテイラー・スウィフト超え

2 百年前にナポレオンが言った「中国は眠れる巨人だ。中国が目覚める時、世界は震撼するだろう。」この言葉は現実のものとなりました。中国は 1970 年代後半に市場経済に移行して以来、記録的な速さで経済成長を遂げ、人口 14 億人、世界第 2 位の経済大国となりました。世界銀行によると、国内総生産(GDP)は 1978 年の市場改革以来、年平均 10%の成長を遂げており、8 億人以上が貧困から脱却しています。中国経済はここ数年で減速していますが、それでも年平均 6%成長しています。その中国より急速に成長している国がインドです。また今後 10 年間で ASEAN も台頭してくるでしょう。グローバル会計事務所 EY は、中国とインドの間に位置する 10 カ国(6 億 3,000 万人)の GDP は、2017 年~2021 年間に 3%から 8%成長すると予測しています。おそらく過去 50 年間、世界で起こった最大の変化は、アジアの経済の著しい興隆でした。アジア経済は西ヨーロッパや北米よりも急速に成長しています。(参照※1)

それを見せつけるような全米ベストセラー小説「Crazy Rich Asians」が映画化、公開され、全米 3 週連続第 1 位を記録して大きな話題となっています。また、韓国のボーイズバンド BTS の新曲「IDOL」は YouTube で公開後 24 時間で 4,500 万ビューを突破し、テイラー・スウィフトが持つ 4,320 万ビューという記録を抜きました。(参照※2)白人が主人公になることが多いハリウッドでオール黒人キャストのブラック・パンサーが興行的成功をおさめるなど、米ショービジネス界では今多様性がトレンドという影響もあると思いますが、巨大なアジアの消費者パワーも米エンタメ界でのアジア系躍進を後押ししているに違いありません。「Crazy Rich Asians」の原作小説は 3 部作で、本作の成功を受け、次回作の映画化も決定しました。舞台はシンガポールで、マリーナベイ・サンズ・ホテルや屋台のシンガポール料理などを描写し、今後のシンガポール観光に大きく大きく貢献すると思われる。



出典元: Campaign Asia



出典元:BTS YouTube

※1 Crazy rich Asia | Campaign Asia

[Crazy rich Asia | Campaign Asia](#)

※2 BTS プロモ閲覧記録更新 | Metro News

<https://metro.co.uk/2018/09/20/bts-music-video-idol-beat-taylor-swifts-record-by-2-7-million-views-7963175/>